

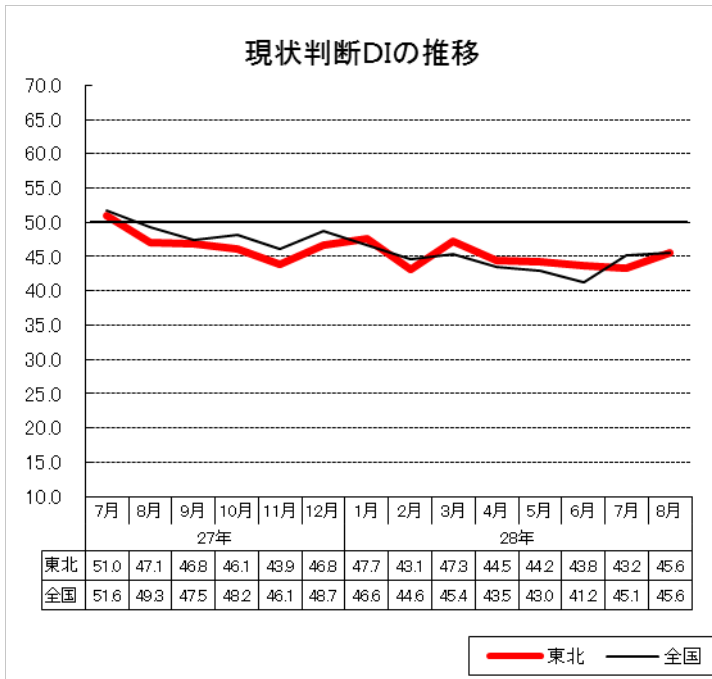
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 8 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力㈱取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 8 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「45.6」と5か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.4ポイントとやや上回ったが、13か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



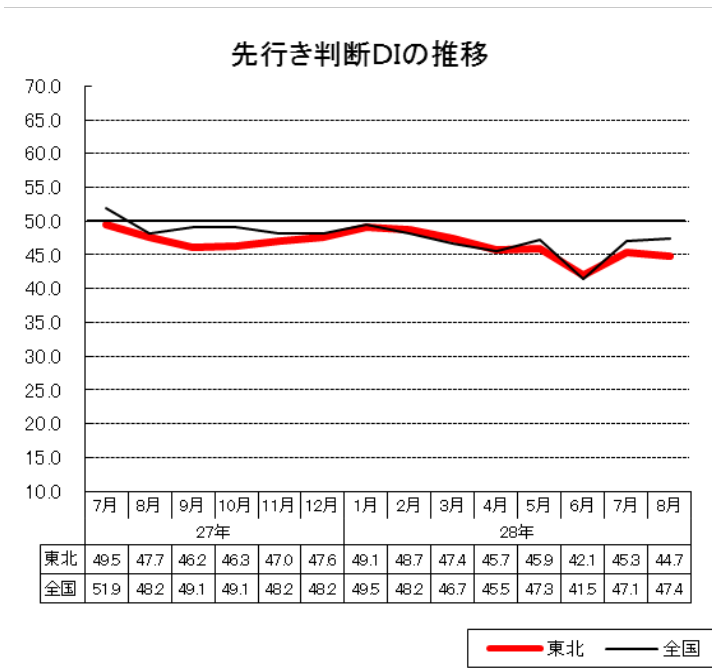
・家計動向…百貨店、スーパー、都市型ホテル等で DI が前月を下回ったが、美容室、一般レストラン、観光名所・遊園地等の業種で DI が前月を上回った。DI は「44.4」(+2.2)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 15 か月連続で下回った。

・企業動向…輸送用機械器具製造業、建設業等で前月を下回ったが、農林水産業従事者、出版・印刷・同関連産業、通信業等の業種で DI が前月を上回った。DI は「48.0」(+4.4)と2か月連続で前月を上回ったが、基準値 50 を 5 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「48.9」(±0)と前月から横ばいとなったが、基準値 50 を 2 か月連続で下回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「44.7」と2か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲0.6ポイントとわずかに下回り、14か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



・家計動向…観光型ホテル、旅行代理店、一般レストラン等の業種で DI が前月を上回ったが、高級レストラン、商店街代表者、タクシー運転手等の業種で DI が前月を下回った。DI は「42.6」(▲2.4)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 14 か月連続で下回った。

・企業動向…輸送業、食料品製造業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「48.7」(+4.5)と2か月連続で前月を上回ったが、基準値 50 を 5 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「51.1」(+2.2)と、2か月連続で前月を上回り、3か月ぶりに基準値 50 を上回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年						28年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2	45.6
家計動向関連	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2	44.4
企業動向関連	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6	48.0
雇用関連(参考)	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9	48.9

(2) 先行き判断D I

	27年						28年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3	44.7
家計動向関連	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0	42.6
企業動向関連	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2	48.7
雇用関連(参考)	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9	51.1

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 8 月 25 日～31 日

回答者数 195/210 名、回答率 92.9%(全国 1,876/2,050 名、91.5%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

- （コンビニ）…前年と比較して降雨量が少なく、飲料やアイスクリームといった冷たい商品の売上が伸びている。
- （酒類専門店）…不景気というイメージを払しょくできないままお中元シーズンになり、単価や販売量への影響を懸念していたが、結果としてはほぼ例年並みとなっている。普段は消費を控えている客も、お盆期間は財布のひもが緩くなり、飲食店への販売量や店頭でのお土産などによる地酒の販売量がわずかではあるが良くなっている。
- （旅行代理店）…熊本地震の風評被害もある程度払しょくされており、九州方面の問い合わせも増えてきている。
- （遊園地）…8月後半の2回の台風の前までは天候が良く、また、山の日の効果もあり、非常に悪かった前年と比較して大きく好転している。ただし、単価は弱含んでいる。
- （自動車整備業）…夏の需要は依然として高く、来客数、販売額、商品単価共に好調である。
- （電気機械器具製造業）…大口顧客の半導体製品価格が回復しつつあり、業績にもその影響が表れてきている。
- （金融業）…取引先企業のなかで、業務内容の拡大や新規事業参入を企図した設備投資の動きがみえ始めている。

○「変わらない」

- （商店街）…月前半は人出も多かったが、後半は天候の悪化により客足が伸び悩み、物販店のみならず、飲食店においても苦しい月となっている。また、月前半の夏祭りでは来訪者が前年を上回ったものの、商店街の各店舗においては、売上の増加にはあまり貢献していない様子である。
- （衣料品専門店）…残暑で夏物セール品が動いている反面、秋物商材の立ち上がりが遅い。そのため、売上が確保できても利益の確保が厳しい状態である。
- （家電量販店）…夏商戦は不振であり、扇風機など季節商材の前年比は、約6割まで落ち込んでいる。8月前半は梅雨明けで出足が良かったが、お盆前から前年を下回る状況が続いている。オリンピック需要で、テレビを中心にやや前年を上回った商品もあるが、全体としては前年比が10%以上落ち込んでいる。
- （乗用車販売店）…ここ数か月間、土日祝日の客の動きに全く変化がない。
- （住関連専門店）…特別注文の家具を製造しているが、3か月前とあまり変わらない販売量となっている。
- （高級レストラン）…周辺の祭りやイベントにより、ディナーの来客数と売上は増加しているものの、ランチは全体的に伸び悩んでいる。しかし、全体としては前年並みの収入を確保することができている。店舗周辺の客が消費しない分、来県者の消費で補った月となっている。
- （一般レストラン）…ネットで安くて良い物の情報を探す客が増えている。飲食に関しても同じレベルの内容なら、多少遠くても観光を兼ねて足を伸ばすという話を良く聞く。そのため、県外から来る客もいるものの、地元の客は県外に食べに行つて地元で経済効果を生まなくなっている。
- （通信会社）…ここ3か月は、新規加入者数が少なく、解約者の数を下回っている状況に変化はない。また、低価格で新しいサービスなどについても、興味を示す客は少ない。
- （住宅販売会社）…60歳代の資産整理に伴い、中古物件として売買するためのリフォーム工事が増えている。
- （リフォーム業）…売上は前年を上回っているものの、問い合わせなどの受付件数は前年を大きく下回っている。

(農林水産業) …7月に前年を下回っていたお中元、贈答用ももの注文数は、8月初旬には前年並みとなっている。

(食料品製造業) …夏祭りの期間は前年より人出は多かったが、商品が冷蔵品ということで、暑さも重なり動きはあまり良くない。逆にお盆の帰省のお土産はよく動いたが、全体としては前年を上回ることができていない。

(建設業) …8月は、前半に受注がある程度あったものの、後半は少なくなっている。

(人材派遣会社) …求人数の増加傾向が継続している。特に営業職やITエンジニア、組み込みエンジニアなどが顕著である。

(職業安定所) …就職件数が、前年と比較して1割以上も減少している状況が続いている。求人全体の充足状況も2割程度であり、なかなか思うように人材確保ができていない状況が続いている。

○「やや悪くなっている」

(医薬品販売店) …客単価も良くないが、それ以上に来客数が落ち込んだまま回復しない状態が続いている。前年は業績が継続的に改善し、震災で移転した店舗もようやく軌道に乗ってきたが、この半年で震災後の悪い状態に戻ってしまっている。また、今回の継続的な業績悪化については、はっきりとした原因がつかめていない。

(百貨店) …今月の売上は、曜日配列の悪さも大きく影響しているが、前年と比較して、秋物の動き方、客の買物の鈍さが目立っている。秋物も、実際動いている商材は今着ることのできる軽衣料が中心であり、単品買いのため客単価も上がっていない。

(観光型旅館) …宿泊人数や客室稼働は前年より上回っているものの、売上は減少している。料理やサービスの内容よりも、まずは価格ありきの流れであり、客のふところには、春風ではなく秋風が吹いている。

(都市型ホテル) …ホテルの宴会部門としては、同窓会が非常に多い月である。しかし、今年は集まりが悪いのか前年を下回っており、今一つ盛り上がりにかけた月となっている。

(飲食料品卸売業) …以前より販売量は2～3%ほど良くなっている。しかし、単価は低下しているため、全体的に売上が減少しており、比例して利益も落ち込んでいる。

(新聞社[求人広告])…オリンピックの開催時期はものが動かない、というジンクスは今回も生きており、求人広告を含めた広告動向が8月に入りぴったりと止まってしまっている。これが一過性のことであれば良いのだが、オリンピックが終わっても動きが戻っていない。

○「悪くなっている」

(スーパー) …消費者の節約志向が強くなっている。競合他社の状況をみても、価格のデフレ傾向が顕著に表れている。

(広告業協会) …オリンピックの期間は広告主の動きが少なく、新聞広告は大きく落ち込んでいる。また、テレビ局もスポットの空き枠がなくなるのではないかとみていたが、動きはなく弱含みで推移している。折込広告は特に影響が大きい。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(一般レストラン) …来客数は2～3年前の同時期と比べれば下回るだろうが、今後は今月に比べれば増えるとみている。

(農林水産業) …平成28年産米の予定取引価格が前年を上回る見込みである。

(出版・印刷・同関連産業) …年末に向けて販促需要が高まるとみている。

(建設業) …年度初めに各官庁から公表された発注見通しによれば、今後も下期に向けて大型公共工事の発注が進捗すると見込んでいる。

(人材派遣会社) …9月末は派遣の契約期間満了のひとつの節目である。そのため、10月以降で仕事を探す求職者の動向が活発化するとみている。

○「変わらない」

(百貨店) …客との会話では、収入がほとんど変わらず、この先も上がる見込みがないので、今は消費を少し控えているという声を多く聞く。実際の買物でも、複数の購入をしやすい催事においても、商品をかかり絞りで購入していることから、今後の消費動向が変化するとは考えにくい。

(コンビニ) …客単価や買上点数に大きな変化はなく、景気が良くなるような材料にも乏しいため、低調なまま現状維持となるのではないかと。また、地下鉄新規路線開通以降、立地が駅と駅の間になってしまったため、来客数が元に戻るという見込みは薄い。さらに、8月以降は例年一服状態が続くため、期待できない。

(観光型ホテル) …現状維持が精一杯であり、この先も変わらないとみている。

(旅行代理店) …海外において、テロに対する不安要素が払しょくされていない。また、国内も台風や連休の並びの悪さ、円高株安の影響もあり、しばらくはこの状況が続くとみている。

(金融業) …取引先企業のなかで、業務内容の拡大や新規事業参入を企図した設備投資の動きがみえ始めている。一方、天候要因により、今後は水産物や青果物の原料不足が危惧されており、関連業種に関してはその影響を懸念している。

(公認会計士) …一般消費者の消費傾向や、復興工事などの需要が大きく落ち込む要因は現在のところ見当たらない。当面は現状維持の状態が続くとみている。

(職業安定所) …今年の3月以降、新規求職者数の前年比に大きな動きはなく、在職求職者や事業所都合離職者の割合にも変化はない。また、今年の3月以降、新規求人数の前年比が下降気味で推移しているが、企業の業績悪化などによるものとは確認されていない。

(学校就職担当者) …年度当初の採用計画から、新規採用、増員などの計画を変更している企業は微増であり、さほど大きな変化はみられない。

○「やや悪くなる」

(商店街) …前年は7月にプレミアム付商品券が発売になり、地元商店街にもある程度の効果が表れたが、今年は販売がなく、先行きの景気回復に対する起爆剤がない。

(医薬品販売店) …アベノミクス経済効果により、世の中のお金の動きが良くなるような方向に進んでいる様子であったが、こここのところ、円高など政策の効果発現に障害が多くなってきている。中国の景気低迷や世界的な経済環境から、日本単独での景気浮揚はできないのではないかと。

(スーパー) …競合店のオープン以降、来客数がじわじわと減ってきている。夜間の売上が大きい日曜日の落ち込みが特に目立っており、この状況は当面続きそうである。

(衣料品専門店) …10月にかけて残暑が続く予報がでている。そのため、秋物商戦の立ち遅れが、冬物商戦にも悪影響を及ぼすことを懸念している。

(酒類専門店) …今月は人のにぎわいや物の動きがあったが、あくまでも一過性のものに過ぎず、景気が良くなったわけではない。先行きについては不安の方が大きい。景気が良くなっているとメディアでは報じられているが、地方においてはそのような実感はない。

(観光名所) …フリー客は順調に推移しているが、先の読める団体予約客が少なくなっている状況から、今後は悪くなっていくのではないかと。

(食料品製造業) …前年は、9月の大型連休の影響で当地域への観光客が多かったが、今年は飛び石のため、それほど期待が持てない。

(飲食料品卸売業) …中小企業を取り巻く環境が非常に悪い。そこに勤めている人の賃金が全然上がっておらず、ボーナスが出ないという状況であり、これでは地域経済がなかなか良くなるとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上